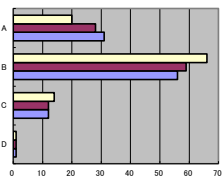
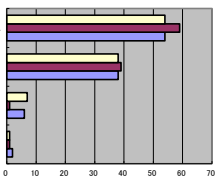
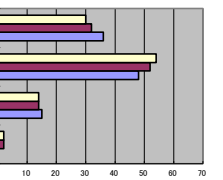
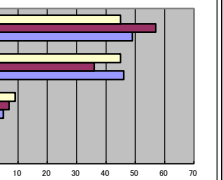
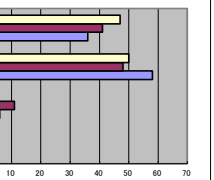
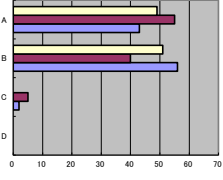
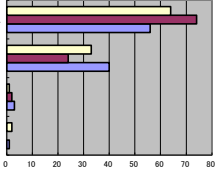
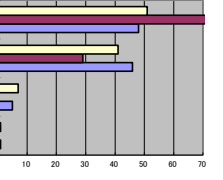
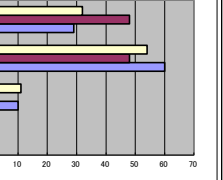
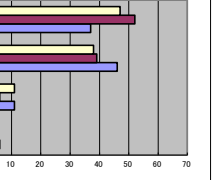
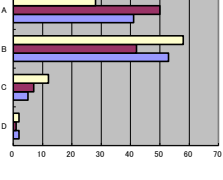
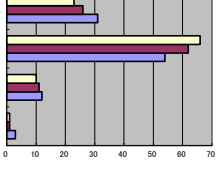
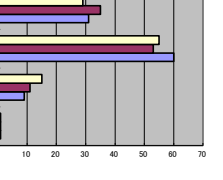
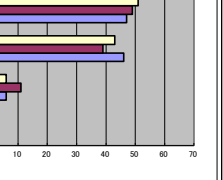
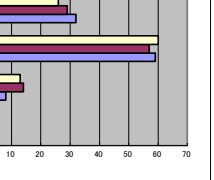
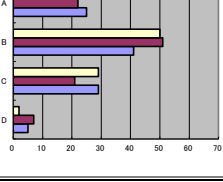
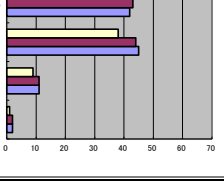
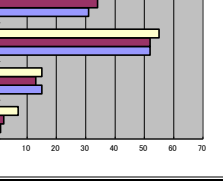
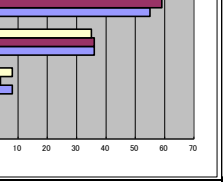
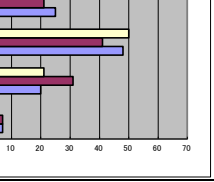
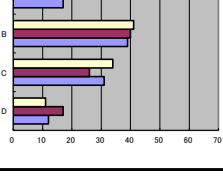
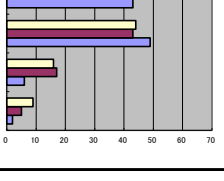
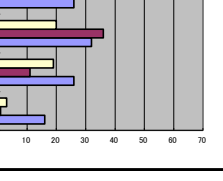
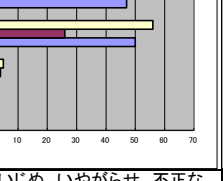
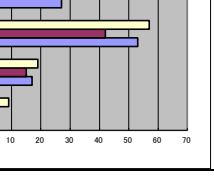
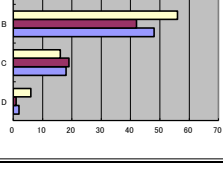
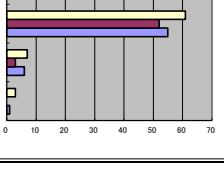
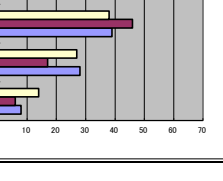
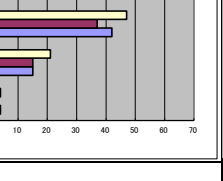
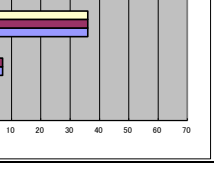


平成27年度 《生徒によるアンケート結果：後期》

				
(1) 学校教育目標、目指す生徒像に近づこうと努力している。	(2) 学校生活は全般的に楽しく充実している。	(3) 達成したい目標を持って学校生活を送ることができている。	(4) 学校行事は楽しくやりがいがある。	(5) 先生や来校者への挨拶、礼儀、言葉づかい、服装はきちんとしてきている。
				
(6) 校則はきちんと守れている。	(7) 遅刻をせず、ベル着もきちんと守れている。	(8) 学級・学年の友達や部活動の先輩・後輩とも仲良くできている。	(9) 学校の施設や用具を大切に扱い、美化活動も積極的に行っている。	(10) 部活動へは積極的に参加し、活動も充実している。
				
(11) 先生は色々な相談や困りごと、悩み事にも気軽に応じてくれる。	(12) 授業はわかりやすく、工夫された授業だと思う。	(13) 授業開始前は教室の美化、机椅子の整頓など整然とした状態になっている。	(14) 授業の初めと終わりに、起立、礼が整然と行えている。	(15) 授業中は先生の話や活動に集中し、意欲的に臨んでいる。
				
(16) わからないときは積極的に質問するなどその日のうちに理解している。	(17) 漢字や英語の習得した語彙量が増えてきた。	(18) 文章の読解力や作文、発表等の表現力が増してきた。	(19) 毎日の授業をととても大切に、学力をもっと伸ばしたいと思っている。	(20) 予習・復習、週末課題、確認テストを重視した家庭学習習慣が定着している。
				
(21) 学習確認プログラムを効果的に活用している。	(22) 4月の頃と比較して、今の自分の学力は向上してきた。	(23) 今の学力では進路展望に不安を感じている。	(24) いじめ、いやがらせ、不正な行為を否定し、人権尊重の精神を基盤にした考え方や判断、行動ができている。	(25) いじめ、いやがらせ、いたづらなどを見た時は注意している。
				
(26) 自分自身に誇りと自信をもって生活を営むことができている。	(27) 社会生活をする上での規範意識が育ってきた。	(28) 地域の行事やイベントへは積極的に参加している。	(29) 自分の住む地域に愛着をもっている。	(30) 学年後半に向けて自分なりの目標を立てて頑張ろうと思う。

※ グラフは各項目、上段：1年生、中段：2年生、下段：3年生。

生徒アンケートにおいては、おおむねA、B評価が多くなっている。特に、設問(2),(4),(6),(7),(8),(10),(14),(17),(19),(23),(24),(30)ではA評価が多く、学校生活は楽しく、授業や学校行事、部活動に積極的に取り組もうとしていることがうかがえる。

設問(16),(20),(21),(23),(28)では、前回同様C、D評価が多くなっている。設問(16)、(20)、(21)については、前回とほぼ同数で、日常の学習に取り組む姿勢や家庭学習の習慣化のさらなる取組の必要性を示しているものと考えられる。設問(28)でも、C、D評価がまだ約30%(1年生は50%)と多いが、徐々に改善しており、今後も、地域の行事への積極的な参加を促すとともに、地域を大切にする心を育てる取組を進めたい。

設問(18)については、以前はA、B評価がC、D評価を下回っていたが、ここ2～3年はA、B評価が80%前後で定着しており、各教科での言語力の向上をめざした取組の成果が現れつつあるものと思われる。今後、さらに取組を進めていきたいと思う。

また設問(24)では、A、B評価がC、D評価を大きく上回っているにもかかわらず、設問(25)ではC、D評価がやや多くなっており、いじめやいやがらせを自分ではしないが、それを見たときに注意するまでにはいたっていないことを示している。前回に比べ1年でC、D評価が約10ポイント減っており、全体としても改善傾向にはあるが、今後より積極的に取り組めるような人権意識や規範意識の高揚を図っていききたいと考えている。